

百周年記念事業協賛募金へのご協力ありがとうございました

日本工業大学後援会 会報

第 77 号

発行／日本工業大学後援会

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台四一
四(〇四八〇)三四四二(代)
平成二十年三月十日
<http://nikkouenkaikai.jp/>

R2100

『夢』という名の種



敬司 川島 会長
(S4/C4 神奈川)

初春の候、後援会会員の皆様におかれましては、日々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また平素より後援会活動に格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

学園は、昨年創立100周年（大学創立40周年）を迎えました。その記念事業である百年記念館『LCセンター』は、10月より開館し、大学の象徴として多方面から関心を持たれ、また学生達に大いに活用されており、利用率も以前より非常に高くなったと聞いております。これも会員の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。大学にお越しの時は、ぜひ見学されてはいかがでしょうか。

今後も子供達の通うキャンパスの充実と発展の為に、また大学とご父母の架け橋となるべく、様々な事業を展開していきたいと考えておりますので、何卒ご支援ご協力のほど心よりお願い申し上げます。現在、平成20年度の特別事業に

ついて特別事業委員会で大学側と協議を重ねており、学生達に喜んでもらえる事業を選定中です。

さて、早いもので3月20日には、学位記授与式が行われます。卒業を迎えられる学生の皆さん、そして保護者の方々に心よりお祝い申し上げます。

今年も昨年に引き続き就職戦線は非常に明るく、多くの学生が企業に内定され恵まれた年となりました。4月より社会人となる学生達が、大学で学んだ技術を活かし、人としてそして企業戦士として活躍される事を心よりお祈り申し上げます。

ここで、卒業される学生諸君に私の好きな言葉を贈りたいと思います。

『夢』という名の種を撒き、『努力』という名の肥やしをやり、『汗』という名の水をやれば、『成功』という名の花が咲く。

いつも夢を持って、その花を咲かせるために日々努力してください。

最後に、大川理事長先生、柳沢学長先生をはじめとする教職員の皆様の後援会活動へのご協力に感謝申し上げます。また、会員の皆様には後援会活動に一層のご支援をお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

「新入会員説明懇談会」

— 平成20年度新入会員を対象に 全国各支部で開催 —

一月二十七日（日）から三月十六日（日）にかけて、全国十八支部の主催により、各会場にて「新入会員説明懇談会」が開催されています。

この懇談会は、四月からの新入学を控え、引越しや新生活の準備に不安を抱えているであろうご父母のために、同じ経験をした支部の先輩会員の皆さんが企画開催しているものです。

会には、新入生とご父母が多数参加し、大学側からの説明を真剣な面持ちで聞き入っていました。初めは緊張していた新入生親子も、在校生や先輩会員による体験談などを聞くうちに、不安が解消された様子で、皆さん笑顔で帰られました。また、多くの支部では懇親会が開催され、新たな地元会員同士の交流がスタートしました。

また、四月二日（水）の入学式終了後には、恒例となりました「後援会をご理解いただく会」を開催します。支部のあるなしに係わらず、全新入会員にご案内し、後援会及び大学について広くご理解いただけるよう、誠意と熱意をもって新入会員をお迎えしたいと思います。

大学に通う四年間、子供たちが

● 平成20年度新入会員説明懇談会日程 ●

開催日	主催支部	開催会場	大学側出席者
1/27(日)	福島県	清稜山倶楽部	吉見学生・就職支援課長
"	青森県	青森国際ホテル	松本図書館事務課長
"	岩手県	サザンパレスフォルテ	鈴木学生支援課員
"	近畿	ホップインアミッシング	入山学生支援課主任
"	千葉県	学友会館	大西財務部長補佐 栗本教務・入試室課長
"	新潟県	長岡グランドホテル	塩入総務課員
2/2(土)	秋田県	協働大町ビル	京野生涯学習センター主事 飯島総務課員
2/3(日)	北陸	金沢勤労者プラザ	藤田総務部長
"	茨城県	玉戸三の丸ホテル	初見就職支援課主任
"	蔵王	オーヌマホテル	大塚教務課主任
2/9(土)	東海	金山ワシントンホテルプラザ	杉村総務課主任
2/10(日)	西中国	ホテルエソール広島	飯島総務課員
3/2(日)	静岡県	ホテル沼津キャスル	林総務課長
3/9(日)	山梨県	ホテル春日居	高田就職課員
3/15(土)	沖縄県	能登の海	藤田総務部長
3/16(日)	栃木県	ホテル丸治	磯経理課主任
"	長野県	長野県民文化会館	倉島用度管財課長
"	群馬県	高崎ビューホテル	日下部教務課主任

支部だより

記憶に残る四年間

本部財務担当・前群馬県支部長

須川 浩



「入学予定者父母説明会」に参加した数日後、当時の支部長より支部役員の要請があり、軽い気持ちで引き受けてから、早四年が過ぎ去ろうとしています。

その間、群馬県支部の理事・支部長を、そして昨年は、本部財務の大役を仰せつかりましたが、お陰様で、ここまで無事にその任を果たすことが出来ました。これもひとえに、学長先生をはじめ大学関係者の皆様、並びに後援会関係者の皆様のご理解とお力添えの賜と、深く感謝申し上げます。

振り返れば、昨年5月に、群馬県支部設立30周年記念祝賀会を、川島後援会長並びに柳澤学長先生のご臨席を賜り、盛会のうちに執り行う事が出来ました。

また、6月には日本工業大学学園創立100周年の祝賀会、10月には百年記念館オープン記念講演会に



支部総会であいさつをする須川前支部長

も出席させて頂きました。在任期間において、通年事業とは別に大変おめでたい周年事業に関わった事で、改めて学園並びに後援会の歴史・重みを感じると共に、今後益々の発展を確信いたしました。

後援会の最大事業である「地域別教育懇談会」では、会長の代理として、新潟県支部主催の教育懇談会に出席させて頂きました。当日は、大変お世話になりました。とうございました。他支部の教育懇談会に初めて出席させて頂きましたが、支部の歴史、特徴、また支部活動に対するご苦労や活動の様子等のお話を聞く機会に恵まれ、大変勉強に成りました。今後、群馬県支部でも、取り入れたい事が多々ありましたので、実施していければと考えております。

また、本部主催に関しましては、九州・四国地区に行つてまいりました。両地区とも、遠方より数時

間をかけ、出席して頂いた会員の皆様に対して、感謝申し上げます。

遠方で暮らす子供の様子や学業の事などを相談している姿を拝見し、また、その地方ならではの実情をふまえたお話を伺いしておりますと、子を思う親の心配事は、会員皆同じだと強く感じたと同時に、このような有意義な教育懇談会を通して、たしかに後援会が大学と学生家庭との「架け橋」になっていると実感した次第です。

最近各支部において新入生の減少が話題になっておりますが、私も、母校の工業高校同窓会常任理事を務めておりますので、今後は日工大の取り組み・後援会の活動内容等を先生方にお話して、ご理解をいただき、毎年数名でも日工大へ生徒を送ってもらおうよう働きかけていきたいと思っております。

また、教育懇談会の出席率の低下も気になるところです。この4年間で得た貴重な経験をふまえ、現支部長・役員を交えて出席率向上の対策を講じられればと思っております。

今後微力ではありますが、何らかの形で、日工大・後援会のお力になればと考えております。

私にとってこの4年間は、人との交流の輪がまた大きく広がった4年間でした。息子に関わることで、幼い頃より多くの方々を知り合うことが出来、さらに日工大に

おいては全国にまでその輪が広がりました。

役員会・理事会では全国の多くの理事の皆様と意見交換をし、一献を傾けながら楽しく懇親を深める事が出来、この充実した4年間の人との出会いは、まさに私の大切な財産になりました。あらためて、日工大に入学し、この春卒業を迎える息子と、このような機会を与えてくれた後援会の皆様に感謝致します。

最後に、日本工業大学及び後援会の今後益々の発展と、相互の良好な信頼関係の継続をお祈りいたしますと共に、子供たちには、日工大で学び培ってきた事を活かして、実社会で大きく羽ばたいていくことを願っております。

後援会事務局の皆様には、今日まで大変お世話になり、ありがとうございました。



支部創立30周年記念祝賀会にて柳澤学長・川島会長と

後援会活動の大切さ

福島県支部長

矢部 重光



大学や後援会の皆様には、大変お世話になっており、心より御礼申し上げます。

平成19年度の支部活動も入学予定者説明会をもってほぼ終了となります。いろいろな行事を振り返ってみると、後援会活動に対し熱心な会員と支部役員の皆様のご協力があり、本当に感謝しています。支部活動の中でも、私が一番印象に残っている「地域別教育懇談会」と「大学視察研修」について報告いたします。

まず、地域別教育懇談会は、46家族63名の参加、参加率27%で昨年より参加率が上がりました。また学生の参加も5人あり、とても有意義な懇談会となりました。これも役員の方々のご協力と参加率向上の工夫のおかげと感謝申し上げます。特に面談までの待ち時間を利用して、各学科のテーブルで工友会福島県支部のみなさんと懇談できたことは、参加された会員のみなさんの財産となり、とても

良かったと思います。

次に11月3日に行われた大学祭に合わせた大学視察研修では、14家族19名の参加でしたが、青森県、千葉県、秋田県の四支部との合同で行うことができ、有意義な大学視察になりました。特に百年記念館については、最新の設備と斬新なアイデアが豊富に入っていて感心しました。当日は、柳澤学長から学校の現状や様子についてお話があり、中でも経済誌によるランキングでは、日工大がかなり上位に位置していて興味深い話となりました。また懇親会は、四支部合同で学友会館をお借りして時間を気にせず交流しました。支部の悩み、親としての悩みなど、他支部の方とお話できたことは本当に良かったと感じています。また学長先生を始め大学の方々とも意見交換ができ、改めて後援会のすばらしさを感じました。今後もこのような合同視察や懇親会を続けてほ



教育懇談会であいさつをする矢部支部長

恒例となった大学視察研修



しいと思います。

これからの日本工業大学に対してあえて望むことは、このすばらしい後援会組織を維持発展させてほしいことです。また施設の拡充などのハード面だけでなく、大学の教育力や研究実績などのソフト面での向上、いわゆる中身が問われてくる時代だと思っています。今後の活躍を期待して報告いたします。

出会い触れ合い語り合い

青森県支部長

澁谷 幸雄(S4)



キャンパスの木々が萌黄色の新芽を吹き、新緑から紅葉へと季節が巡り早四年。胸を膨らませ入学

した息子も今春、システム工学科を卒業。思い返すと、ただただ、感謝することばかりです。

緊張続きだった最初の地域別教育懇談会。夫婦で臨んだ個人面談数日後、不思議に息子と会話が弾み、大学や将来のことを本音で語り合うようになっていました。後援会の役員として大学の情報を受け取るうちに、この懇談会は親子の絆を深める上でも素晴らしい機会なのだと考えるようになり、三年生の地獄からは息子と三人で参加しました。

創造性を育み、進取と共生の気風を尊び、時代に沿った人材育成の大学の在り方を追求なさっている学長はじめ先生方、その教育研究活動を側面から支える後援会とのベストマッチングこそ、日工大の良さであり、私も会員が居心地のよい理由だと思っています。



県人会で製作した「100周年記念ねぶた」(左が澁谷支部長と夫妻)

この一年、青森県支部では嬉しいことが続きました。昨年九月の地域別教育懇談会に柳澤学長をお迎えし、秋田県支部からも御出席を頂き大変有意義な懇談会になったこと。また、学生の組織する青森県人会が製作した「100周年記念ねぶた」が秋に完成し、めでたく学園祭でお披露目されたこと。更に十一月の大学視察研修には、福島・青森両県に千葉、秋田の支部会員が加わって、四県合同の研修並びに交流会が実現し、出会いの触れ合い語り合いの輪がより大きくなったことなど、実り多き年となりました。

年明けの新人会員説明懇談会では、支部役員の活躍が今もなお心に新しいのですが、四月の総会を



柳澤学長を囲んで

控えた中、支部役員の後援会に対する理解と御協力には頭が下がる思いです。

また、これまで日本工業大学の学長先生そして後援会事務局の皆様の変わらない笑顔の御指導に、沢山の元気を頂き励まされてきたことも忘れられません。四年間、本当に有難うございました。

茨城県支部創立30周年記念式典を挙

昨年十一月二十五日(日)、水戸市のみまつホテルにおいて茨城県支部の創立30周年記念式典が行われました。

当日は、柳澤学長、川島会長、窪

田顧問、歴代の茨城県支部長をはじめ、支部会員や会員OBが多数参加し、旧交温まる盛大な式典となりました。

また、100周年記念協賛として支部が積立していた寄付金を代々木支部長から柳澤学長に贈呈しました。

写真の通り、記念の支部会報も発行され、茨城県支部の充実ぶりが窺い知れます。今後益々の発展をお祈り申し上げます。



創立30周年を記念して発行された支部会報

